

H.C.R.2008 国際シンポジウム報告  
フランスの少子化政策の実情と課題  
〈目 次〉

I. はじめに

1. フランスにおける人口動態
2. フランスの人口ピラミッド
3. 日本の人口ピラミッド
4. フランスの婚外子および1年以内に父親に認知されなかった子どもの割合

II. 高齢化の要因－出生率では「フランスの例外」がみられるが、死亡率ではみられない

1. 一般的な高齢化の要因
2. 高齢化の第1の要因
3. 高齢化の第2の要因
4. 高齢化の第3の要因
5. ベビーブームの最後の反動
6. 移民の入国超過による人口増加
7. 死亡者数の推移
8. 出生時平均寿命(一部の先進国)
9. 女性の平均寿命

III. 高齢化人口の増加による負担はどのくらい大きいのか？

－高齢化が施設入所者におよぼす影響を推定

1. ヨーロッパ各国における75歳以上の施設入所者
2. 2030年の施設入居高齢者の数を予測できるか？

IV. ヨーロッパの現状から見たフランスの家族政策

1. フランスの社会的保護給付の対象となるリスクの分布
2. フランスの家族政策の特徴
3. 現金給付がすべての給付ではない
4. 家族政策の影響は一般的にどのように評価されているか？

## V. 家族政策や移民政策は高齢者対策になりうるのか？

1. ヨーロッパとアメリカにおける移民の動向について
2. 主要国の国連人口予測
3. 各国人口予測のまとめ

## VI. まとめ

### 質疑応答

- Q1. 政策的に回避可能な高齢化はあるか？
- Q2. 文化の異なる国がフランスの家族政策をうまく導入できるか？
- Q3. フランスの出生奨励策についての背景は？
- Q4. 若者の失業率が改善しないなかで、なぜ高い出生率が実現できたか？
- Q5. 将来の高齢者施設のニーズの増大への対応は？
- Q6. 高齢化対策の給付と財源問題はどのように考えているのか？
- Q7. 移民の受入れについて、どのように考えているのか？
- Q8. 外国に対して国を開くことは、高齢化社会にとってプラスになるか？

### 参考資料